



平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 新日本石油株式会社  
コード番号 5001 URL <http://www.eneos.co.jp>

上場取引所 東 大 名 札 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 進路  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理第1本部IR部IRグループマネージャー (氏名) 四谷 九吾

TEL 03-3502-1184

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

百万円未満の端数は切り捨てております。

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,082,426	—	△356,628	—	△351,304	—	△224,522	—
20年3月期第3四半期	5,317,822	8.9	223,506	71.8	244,581	57.5	135,703	89.4

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△153.80	—
20年3月期第3四半期	92.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	4,356,169	—	1,084,012	—	22.3	—	667.37
20年3月期	4,594,197	—	1,429,266	—	28.5	—	896.06

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 972,993百万円 20年3月期 1,309,787百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600,000	1.0	△304,000	—	△270,000	—	△240,000	—	△164.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 1,464,508,343株 20年3月期 1,464,508,343株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 6,558,254株 20年3月期 2,788,574株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 1,459,795,777株 20年3月期第3四半期 1,461,291,461株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

なお、上記業績予想の前提となる仮定等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800,000	1.4	△ 430,000	—	△ 105,000	—	68,000	△ 20.6	46.57

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における石油製品等の販売状況につきましては、原子力発電の稼働減等に伴う電力用C重油の需要増に加えて、燃料油の輸出が好調に推移いたしました。燃料転換の進展等の影響を受けて、産業用燃料を中心に需要が減少いたしました。この結果、他石油会社との相互融通取引等を除いた販売数量は4,961万KL（前年同期比3.4%減）となりました。

連結業績につきましては、売上高6兆824億円（前年同期比14.4%増）、営業利益△3,566億円（前年同期比5,801億円の減益）、経常利益△3,513億円（前年同期比5,959億円の減益）でありました。これは石油製品及び石油化学製品の販売数量が減少したことに加え、原油価格の下落に伴い前期において利益の増加に寄与した在庫影響が、当期は利益の大幅な減少要素に転じたことなどによるものです。

なお、在庫影響を除いた経常利益は737億円（前年同期比249億円の減益）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4兆3,562億円となり、前期末に比べ2,380億円減少いたしました。これは、原油価格の下落によりたな卸資産が大幅に減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1兆840億円となり、前期末に比べ3,453億円減少いたしました。これは、原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化等により当第3四半期純損失を計上したことに加え、株価の下落に伴いその他有価証券評価差額金が減少したことなどによるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末の有利子負債残高は1兆6,818億円となり、前期末に比べ3,502億円増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は22.3%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成21年3月期第2四半期決算公表時）予想に比べ、原油代が低水準で推移していることなどを踏まえ、通期の業績見通しを修正いたします。なお、本見通しは、通期（平均）：原油代83.7ドル／バレル、為替レート100.0円／ドルを前提としております。

（前回公表時：原油代97.8ドル／バレル、為替レート105.3円／ドル）

売上高は、7兆6,000億円（前回予想比14.1%減）となる見通しであります。原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化等により、営業利益△3,040億円（前回予想比2,920億円の減益）、経常利益△2,700億円（前回予想比2,750億円の減益）、当期純利益△2,400億円（前回予想比2,170億円の減益）となる見通しです。

通期 連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	8,850,000	△12,000	5,000	△23,000
今回発表予想(B)	7,600,000	△304,000	△270,000	△240,000
増減額 (B-A)	△1,250,000	△292,000	△275,000	△217,000
増減率 (%)	△14.1%	—	—	—

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(ア) 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(イ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、石油精製・販売、建設及びその他事業部門において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(ア) 会計処理基準に関する事項の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

## たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ223,641百万円増加しております。

## ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	360,231	228,907
受取手形及び売掛金	719,574	901,675
たな卸資産	751,913	1,157,959
その他	313,513	198,982
流動資産合計	2,145,232	2,487,526
固定資産		
有形固定資産		
土地	666,940	648,325
その他(純額)	709,099	657,535
有形固定資産合計	1,376,040	1,305,860
無形固定資産	48,346	36,260
投資その他の資産	786,542	764,541
固定資産合計	2,210,929	2,106,662
繰延資産	7	9
資産合計	4,356,169	4,594,197
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,976	672,950
短期借入金	696,213	362,523
コマーシャル・ペーパー	170,000	428,000
未払法人税等	33,418	64,166
引当金	3,343	7,018
その他	888,081	723,470
流動負債合計	2,152,033	2,258,130
固定負債		
社債	184,938	135,047
長期借入金	635,559	411,035
退職給付引当金	59,567	64,076
その他の引当金	73,102	71,048
その他	166,954	225,593
固定負債合計	1,120,123	906,800
負債合計	3,272,157	3,164,930

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,437	139,437
資本剰余金	275,702	275,782
利益剰余金	534,458	782,037
自己株式	△4,361	△2,595
株主資本合計	945,236	1,194,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,504	85,725
繰延ヘッジ損益	3,500	18,355
為替換算調整勘定	△9,248	11,045
評価・換算差額等合計	27,756	115,125
少数株主持分	111,019	119,478
純資産合計	1,084,012	1,429,266
負債純資産合計	4,356,169	4,594,197

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,082,426
売上原価	6,224,649
売上総損失(△)	△142,223
販売費及び一般管理費	214,405
営業損失(△)	△356,628
営業外収益	
受取利息及び配当金	24,497
為替差益	6,343
受取賃貸料	6,017
持分法による投資利益	5,268
その他	7,051
営業外収益合計	49,179
営業外費用	
支払利息	22,166
デリバティブ評価損	10,517
その他	11,171
営業外費用合計	43,854
経常損失(△)	△351,304
特別利益	
固定資産売却益	12,442
その他	369
特別利益合計	12,811
特別損失	
固定資産除売却損	7,517
減損損失	8,405
投資有価証券評価損	8,113
その他	5,224
特別損失合計	29,261
税金等調整前四半期純損失(△)	△367,753
法人税等	△147,134
少数株主利益	3,903
四半期純損失(△)	△224,522



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

期 別 項 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)
	百万円	百万円
商 品 及 び 製 品	341,616	447,024
仕 掛 品	121,440	94,713
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	288,856	616,221
減 価 償 却 累 計 額	2,240,380	2,068,553
貸 倒 引 当 金	8,940	9,635

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

期 別 項 目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
	百万円
運 賃 諸 掛	79,213
人 件 費	49,301

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考情報」

前第3四半期連結累計期間にかかる財務諸表

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 〔 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日 〕
	金 額	
		百万円
売 上 高		5,317,822
売 上 原 価		4,890,254
売 上 総 利 益		427,568
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		204,062
営 業 利 益		223,506
営 業 外 収 益		51,116
受 取 利 息 及 び 配 当 金	(	21,304)
受 取 賃 貸 料	(	7,416)
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	(	2,572)
為 替 差 益	(	8,612)
そ の 他	(	11,210)
営 業 外 費 用		30,041
支 払 利 息	(	20,637)
そ の 他	(	9,403)
経 常 利 益		244,581
特 別 利 益		18,321
固 定 資 産 売 却 益	(	9,993)
そ の 他	(	8,328)
特 別 損 失		16,748
固 定 資 産 除 売 却 損	(	7,553)
減 損 損 失	(	7,212)
そ の 他	(	1,983)
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益		246,154
法 人 税 等		101,136
少 数 株 主 利 益		9,313
四 半 期 純 利 益		135,703